

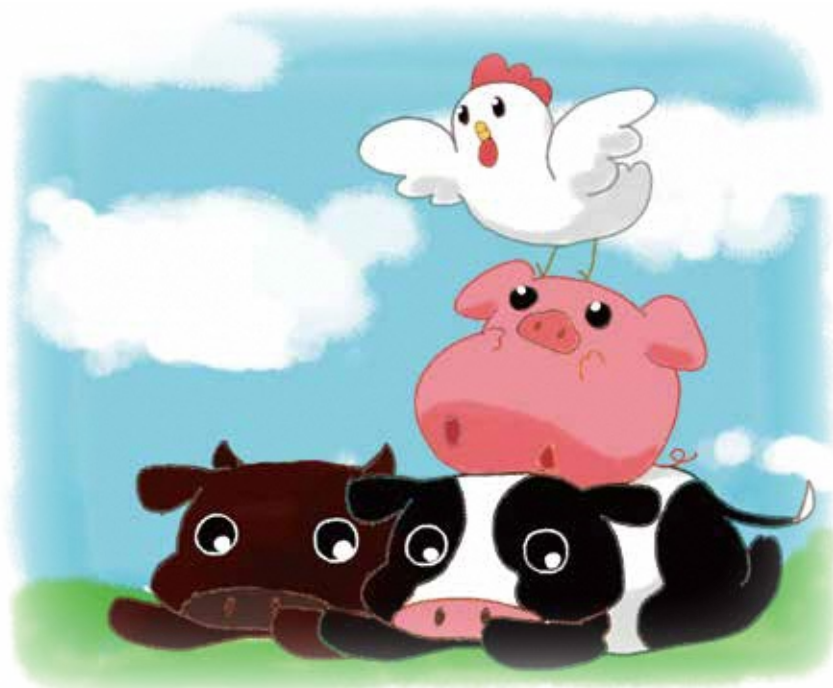
とやまの畜産

   2023



目次

I 畜産の現状	1
1 畜産の概要	1
2 酪農	2
3 肉用牛	3
4 養豚	4
5 採卵鶏	5
6 養蜂	5
II 草地と飼料	6
III 畜産環境保全	7
IV 家畜衛生	7
V 県内の消費動向	8
VI 組織	9



I 畜産の現状

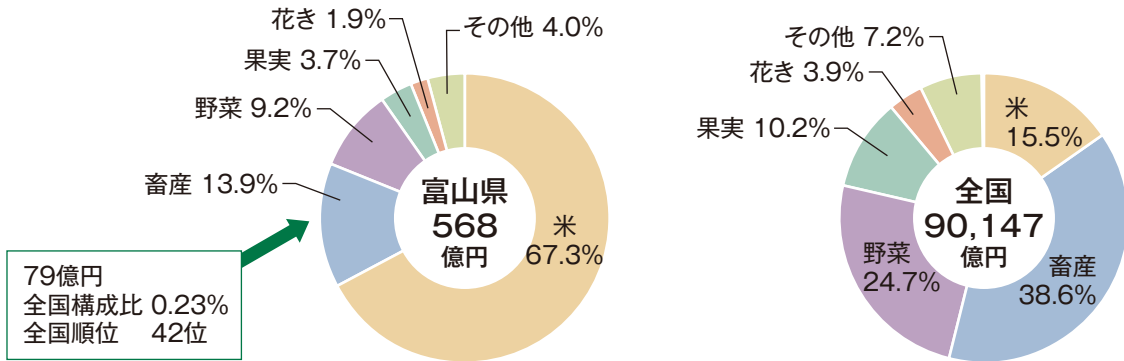
1 畜産の概要

(1) 全国的に見た富山県畜産の地位(令和5年)

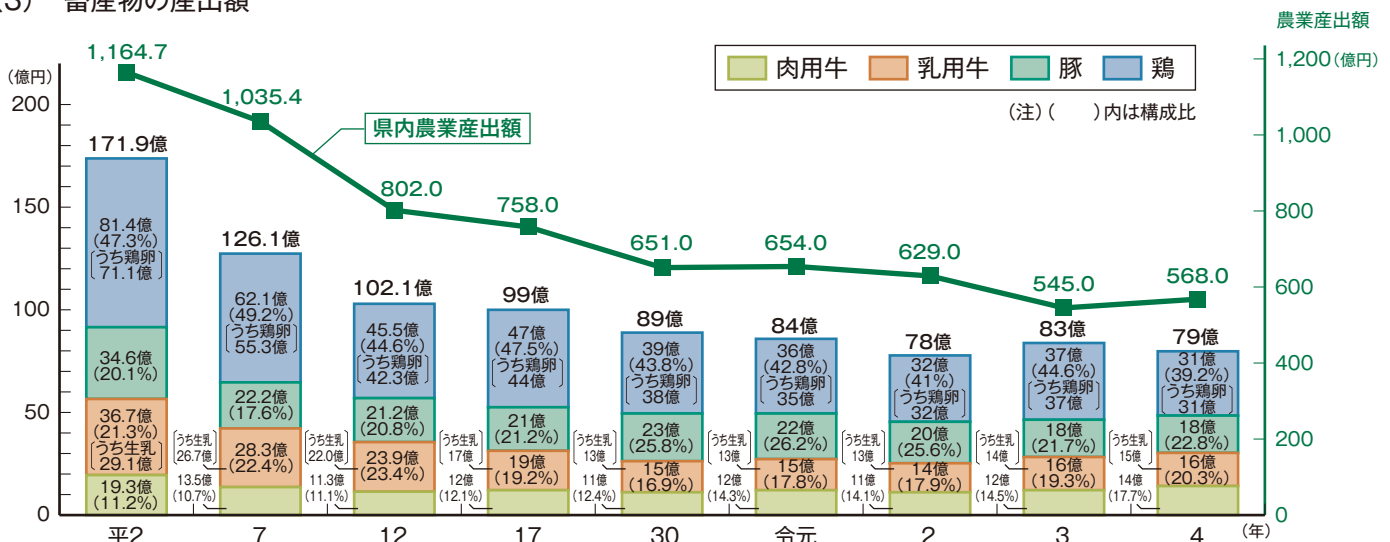
	項目	単位	富山県	全国	富山県/全国	全国順位	参考富山県(R3)
乳用牛	飼養頭数	頭	2,140	1,356,000	0.16%	42	2,180
	飼養農家数	戸	32	12,600	0.25%	43	34
	1戸当たり飼養頭数	頭	66.9	107.6	0.62倍	24	64.1
	生乳生産量	トン	12,350	7,297,614	0.17%	44	12,547
肉用牛	飼養頭数	頭	3,770	2,687,000	0.14%	43	3,690
	飼養農家数	戸	33	38,600	0.09%	45	30
	1戸当たり飼養頭数	頭	114.2	69.6	1.64倍	13	123.0
	牛枝肉生産量	トン	545.3	501,768	0.11%	46	549.2
豚	飼養頭数	頭	23,500	8,956,000	0.26%	37	22,200
	飼養農家数	戸	13	3,770	0.34%	37	14
	1戸当たり飼養頭数	頭	1,807.7	2,657.6	0.69倍	30	1,585.7
	豚枝肉生産量	トン	7,210.9	1,293,854	0.56%	39	6,933.5
採卵鶏	飼養羽数	千羽	836	172,265	0.49%	34	831
	飼養農家数	戸	15	1,760	0.85%	35	17
	1戸当たり成鶏めす羽数	千羽	47.1	76.1	0.65倍	29	43.3
	鶏卵生産量	トン	13,163	2,596,725	0.51%	35	16,225

農林水産省「畜産統計調査」、「牛乳乳製品統計調査」、「畜産物流通統計調査」
採卵鶏の飼養羽数、飼養農家数、1戸当たり成鶏めす羽数は、1,000羽以上飼養農家分
※鶏卵生産量は、令和4年次の数値

(2) 農業産出額に占める畜産の割合(令和4年次)



(3) 畜産物の産出額



農林水産省「生産農業所得統計」
※端数処理のため、計と内訳の数値は一致しない場合がある。

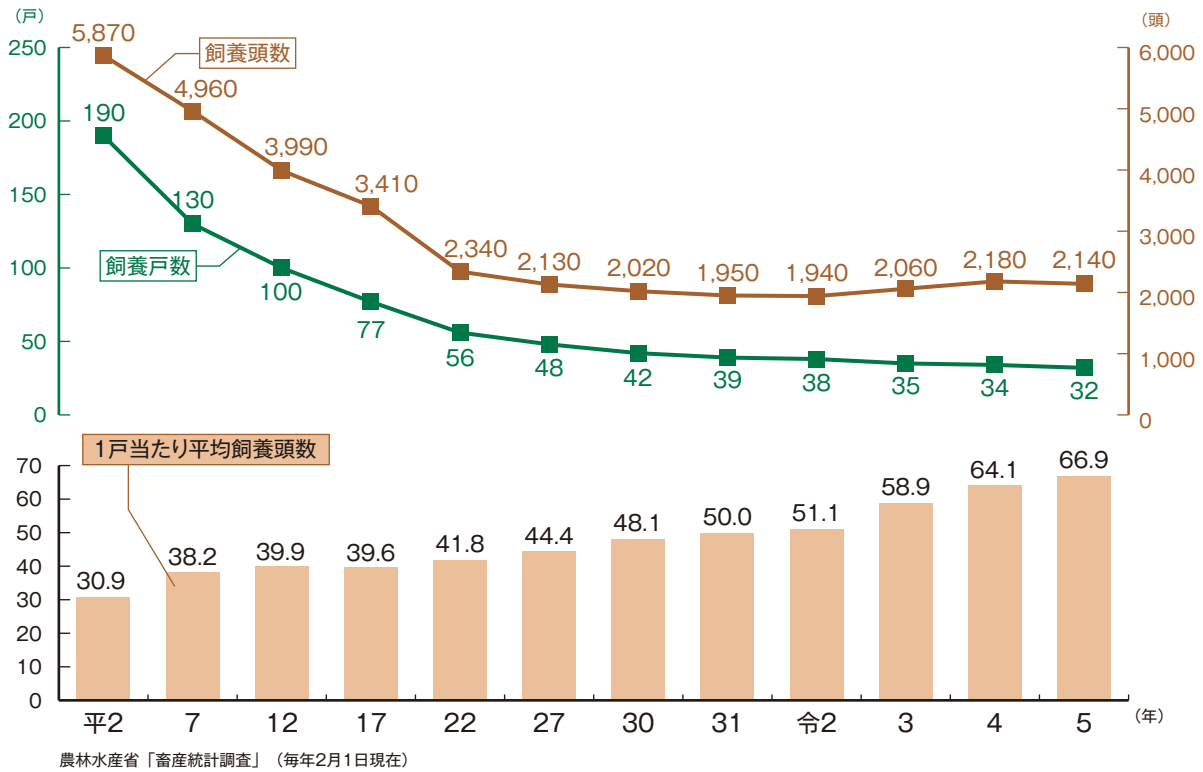
I 畜産の現状

2 酪農

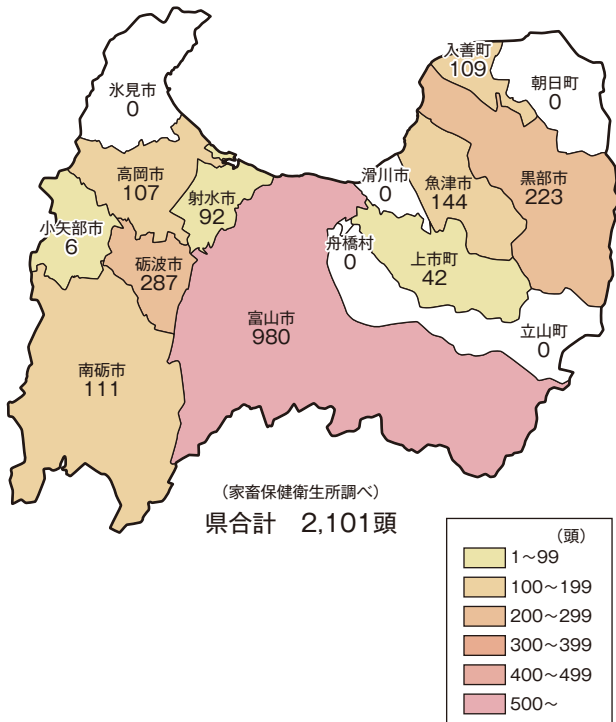
1. 近年の動向

飼養戸数は減少傾向であるが、令和5年の一戸当たり飼養頭数は66.9頭で、27年から続けて過去最大値を更新した。(1960年以降最大、全国平均は107.6頭)

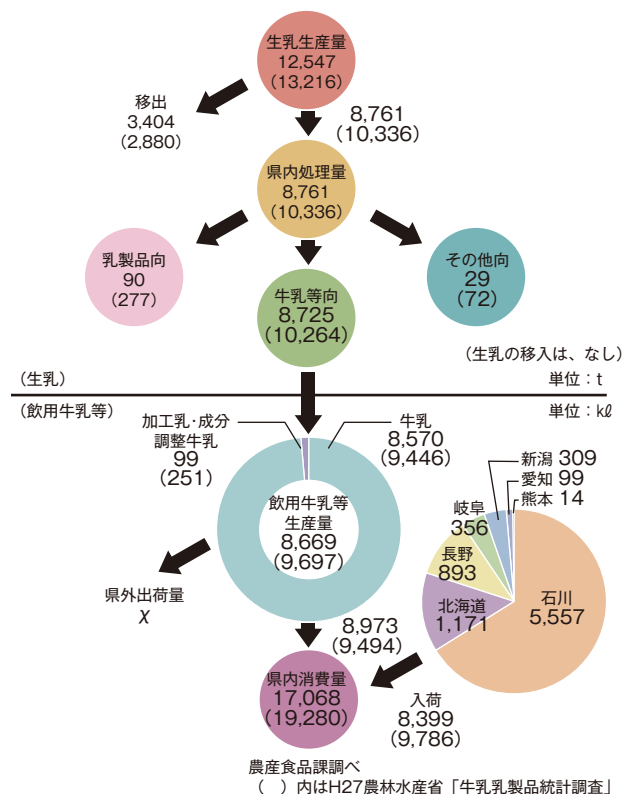
(1) 乳用牛の飼養



(2) 乳用牛の市町村別飼養分布 (令和5年2月1日現在)



(3) 生乳及び飲用牛乳等の流通 (令和4年)



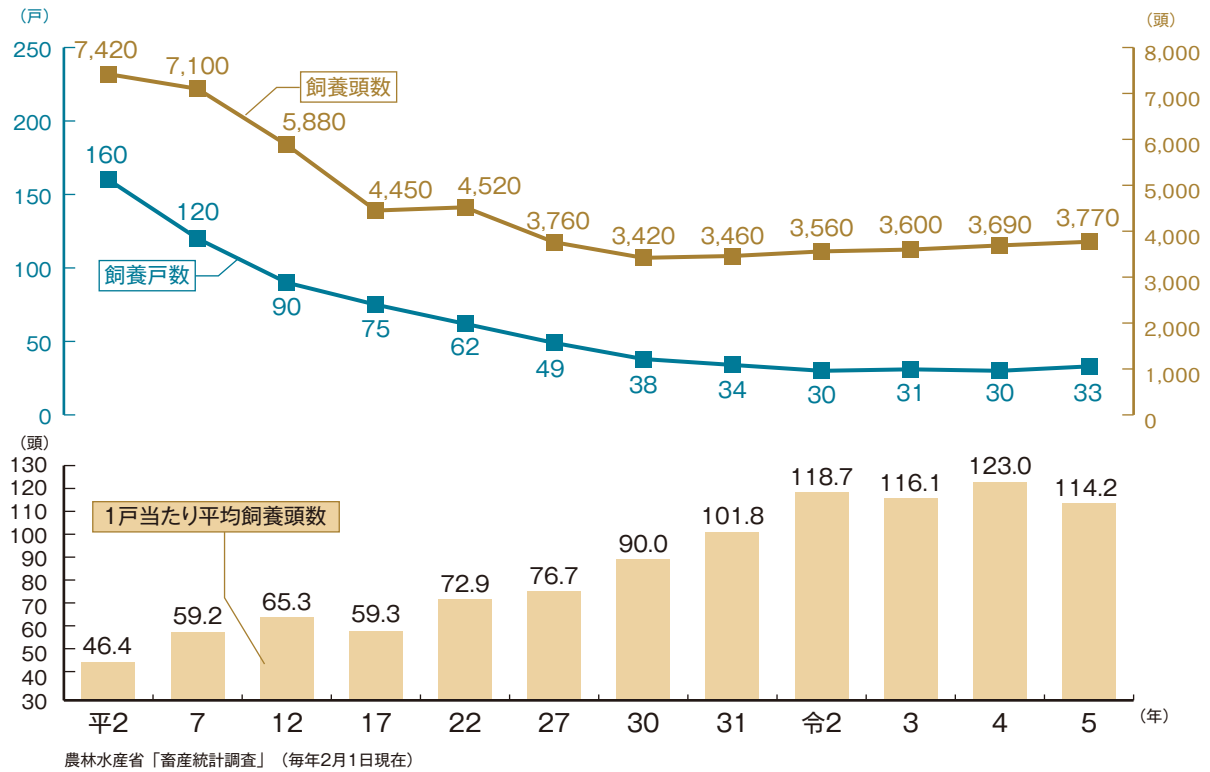
I 畜産の現状

3 肉用牛

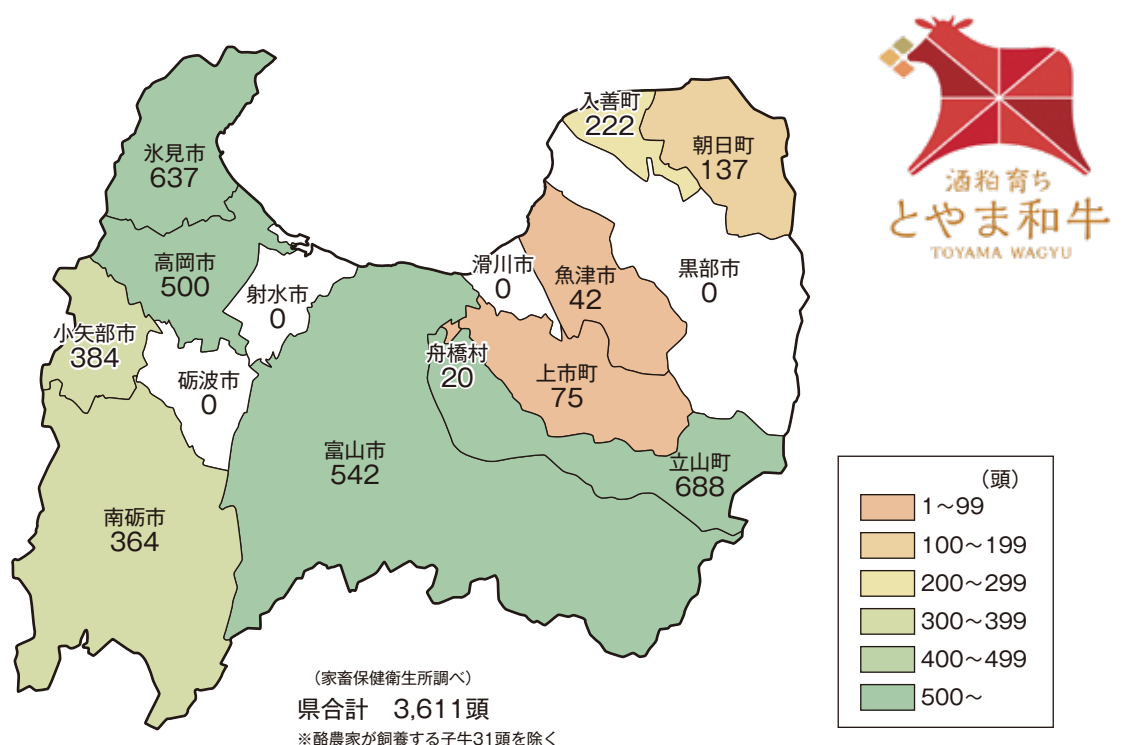
1. 近年の動向

飼養戸数は近年は横ばいで推移している。一戸当たり飼養頭数は令和4年に過去最大となり、令和5年は114.2頭(全国平均69.6頭)となった。

(1) 肉用牛の飼養



(2) 肉用牛の市町村別飼養分布(令和5年2月1日現在)



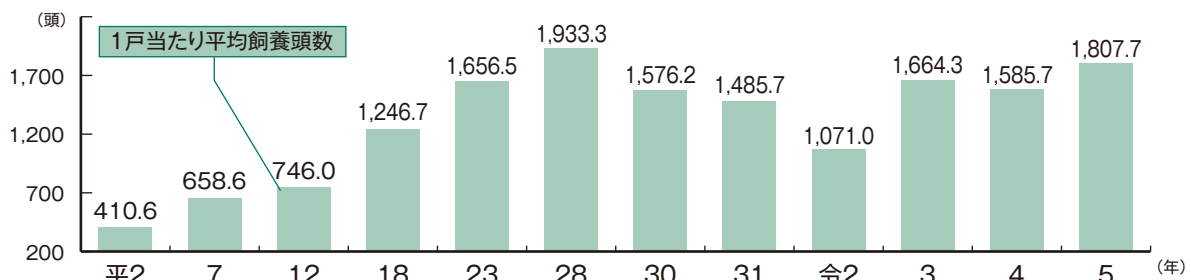
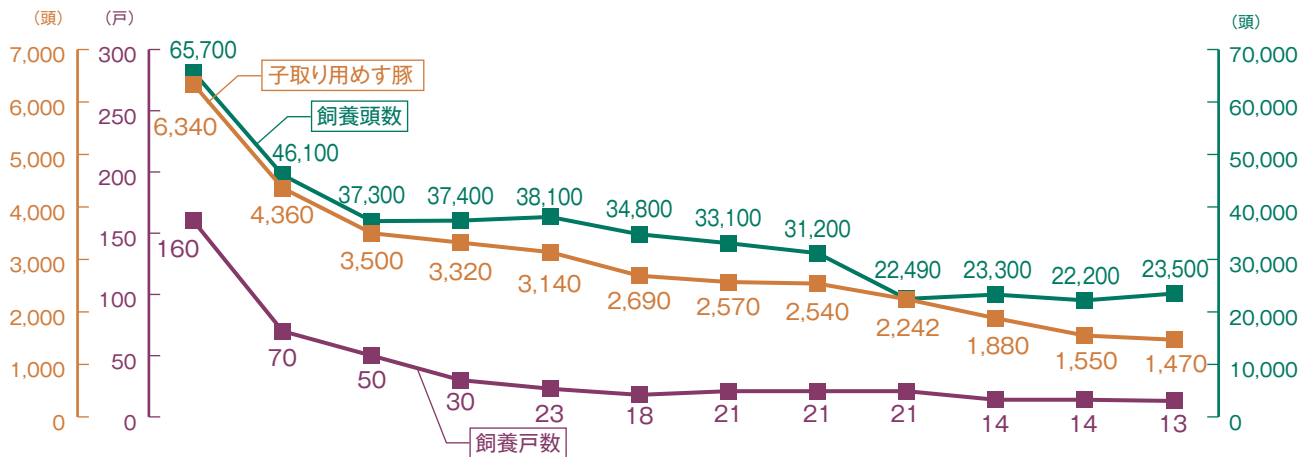
I 畜産の現状

4 養豚

1. 近年の動向

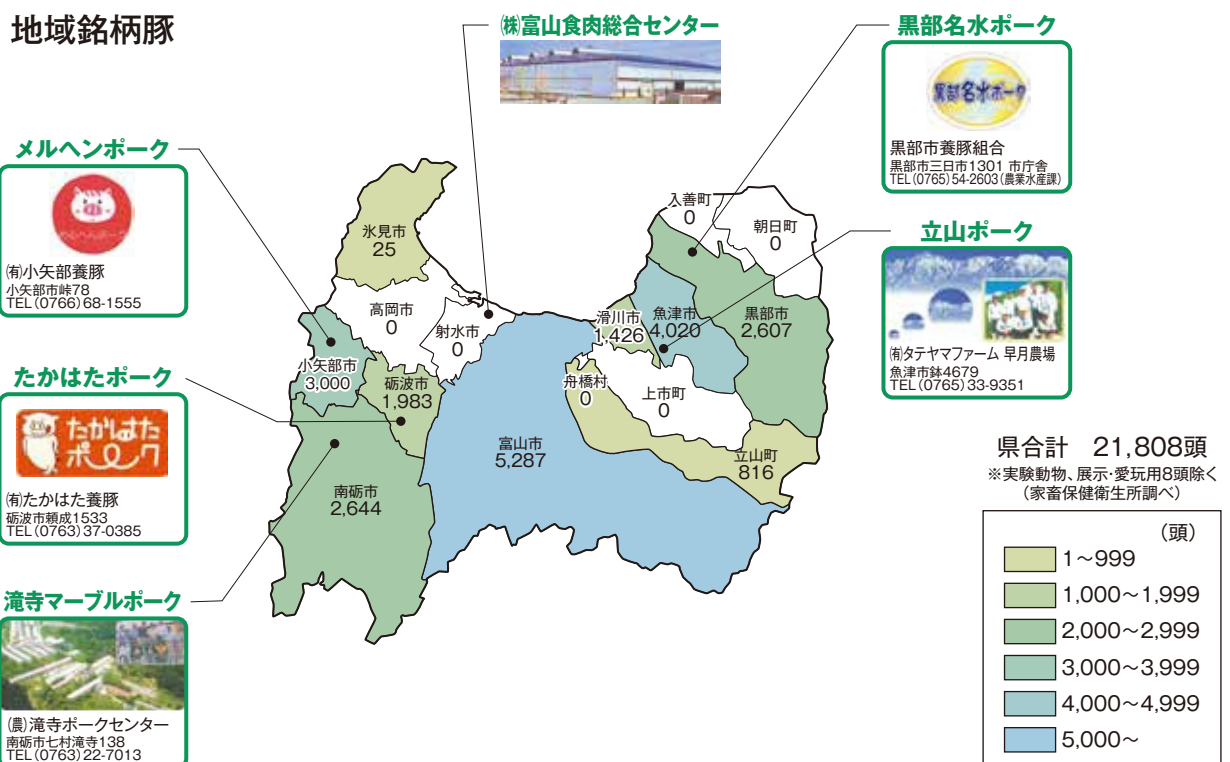
豚熱等の影響により、飼養戸数は令和3年に減少した。一戸当たり飼養頭数は平成28年に過去最大となった後、近年は横ばいで、令和5年は1,807.7頭(全国平均 2,657.6頭)となった。

(1) 豚の飼養



農林水産省「畜産統計調査」(毎年2月1日現在)
 ※平成22年、27年、令和2年の調査は、農林業センサスの実施に伴い休止。(令和2年は農業技術課調べ)

(2) 豚の市町村別飼養分布(令和5年2月1日現在)



I 畜産の現状

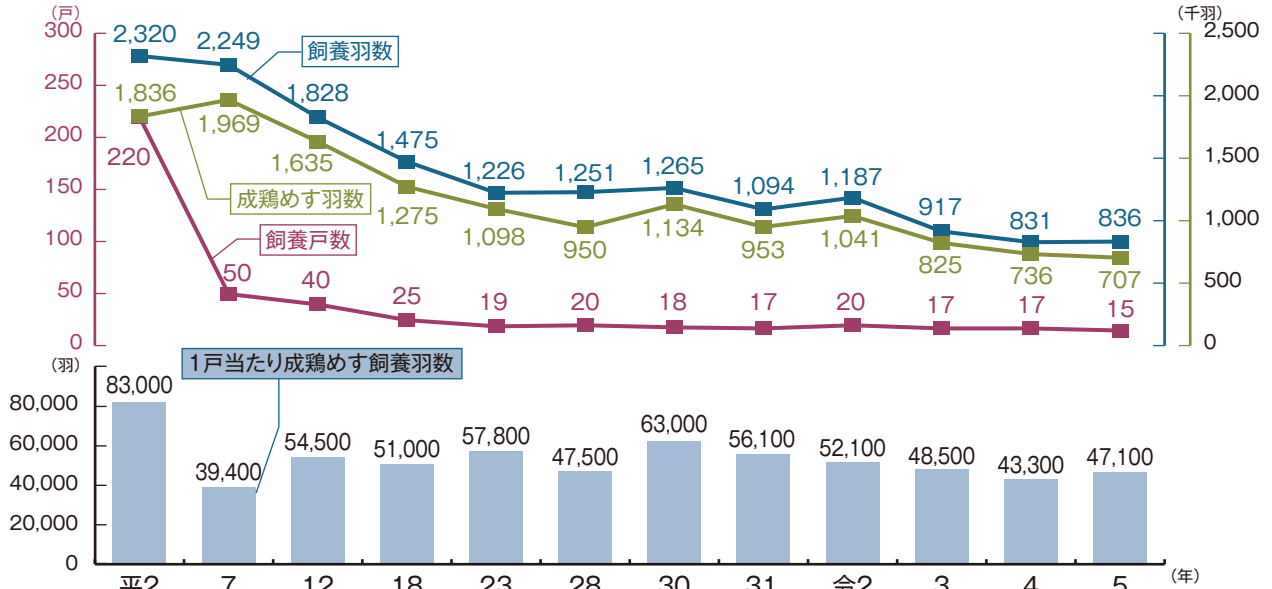
5 採卵鶏

1. 近年の動向

高病原性インフルエンザの発生等により、飼養羽数は令和3年に減少した。

一戸当たりの成鶏めす羽数は、平成30年に過去最大となった後、令和5年は47,100羽(全国平均76,100羽)と減少した。

(1) 鶏の飼養

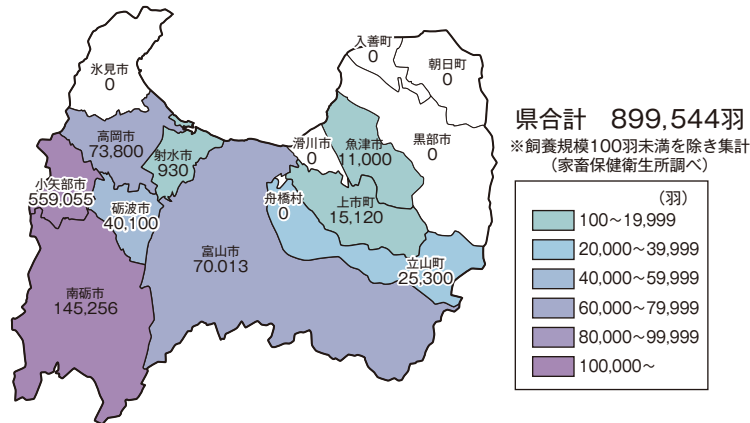


農林水産省「畜産統計調査」(毎年2月1日現在)

(注) 平成3年以降は300羽以上、平成10年以降は1,000羽以上の成鶏めす飼養者を調査対象としている。

※平成17年、22年、27年の調査は、農業センサスの実施に伴い休止。

(2) 採卵鶏の市町村別飼養分布(令和5年2月1日現在)

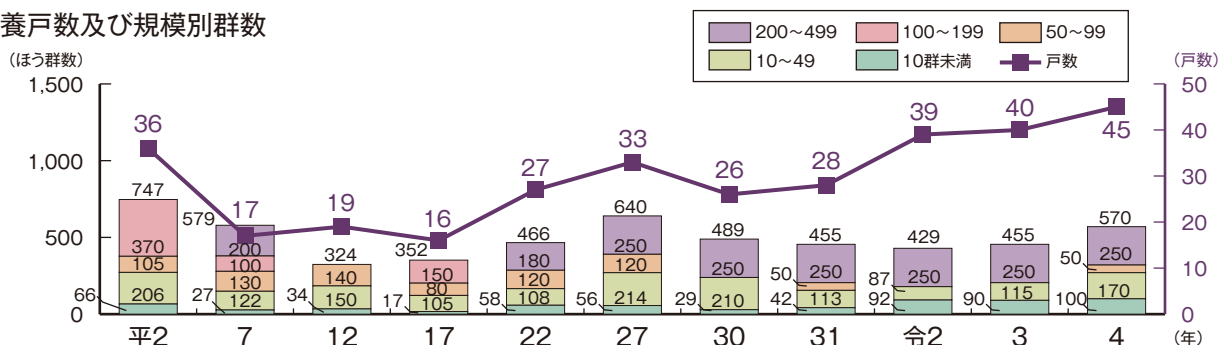


6 養蜂

1. 近年の動向

趣味養蜂家の増加に伴い、令和2年度から飼養戸数が増加、飼養群数も増加傾向である。

飼養戸数及び規模別群数



III 畜産環境保全

家畜ふん尿の処理状況(令和4年12月1日)

畜種	家畜排せつ物(t)	堆肥化仕向(t)	堆肥化仕向(%)	浄化処理(%)	堆肥生産量(t)	経営内利用率(%)
乳用牛	35,773	35,773	100.0	0.0	19,644	65.1
肉用牛	30,256	30,256	100.0	0.0	15,837	32.2
豚	36,189	9,750	26.9	67.7	8,070	1.0
鶏	42,452	42,452	100.0	0.0	9,225	7.9
合計	144,670	118,231	81.7	16.9	52,776	35.4
					共同処理堆肥生産量	25,666



マニュアルブレッダーによる堆肥の散布(氷見)



BSE検査

IV 家畜衛生

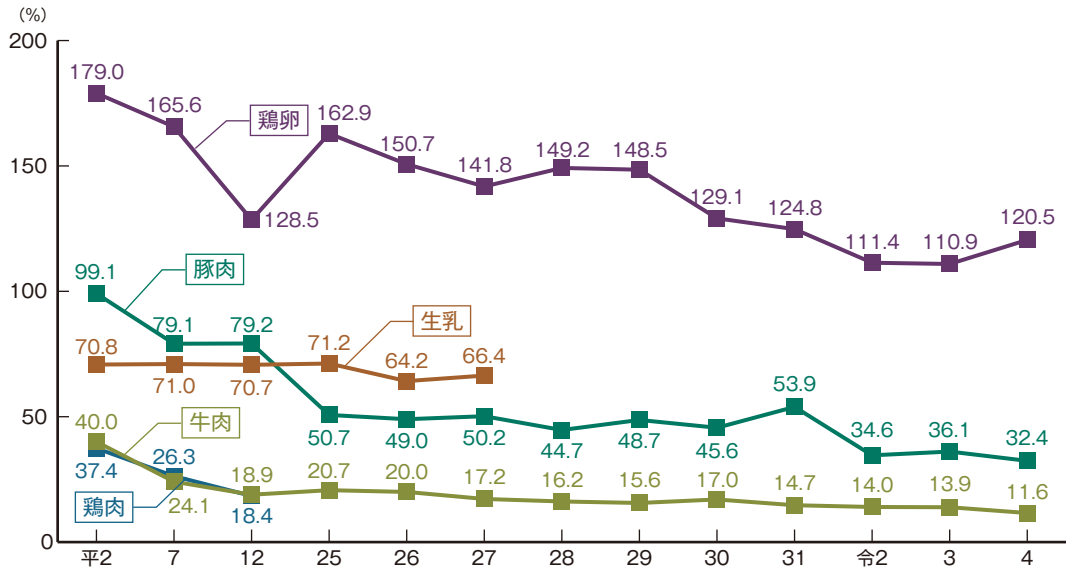
主な家畜伝染病等の検査状況(令和4年)

(頭・羽・群)

検査	牛	豚	鶏	蜂	馬	めん山羊、野鳥等	
BSE検査	BSE 49					TSE 27	
細菌検査	サルモネラ 1,154	サルモネラ 252	サルモネラ 1,138	腐蛆病 637		サルモネラ 4	
	乳房炎 1,668	呼吸器病関連 1	大腸菌 6			乳房炎 62	
	大腸菌 26	大腸菌 11	クロストリジウム 3			クロストリジウム 1	
	呼吸器病関連 72	レンサ球菌 5	豚丹毒 6				
	クロストリジウム 9	クロストリジウム 2					
	牛尿路コリネバクテリア感染症 5						
	レンサ球菌 3						
	トウルベレラ・ヒオゲネス 1						
	ブルセラ病 2						
ウイルス検査	下痢関連 12	豚熱 7	鳥インフルエンザ 725			鳥インフルエンザ 31	
	呼吸器病関連 7		ニューカッスル病 725				
	異常産関連 3		鶏伝染性気管支炎 8				
			鶏痘 3				
抗体検査	ブルセラ病 7	豚繁殖・呼吸障害症候群 977	鳥インフルエンザ 910			豚熱 596	
	ヨーネ病 1,322	豚熱 1,826	ニューカッスル病 590				
	牛伝染性リンパ腫 1,358	オーエスキー病 687					
	アカバネ病 180						
PCR検査	牛ウイルス性下痢 1,560	豚熱 7	鶏伝染性気管支炎 8			豚熱 608	
	牛ロタウイルス病 50	アフリカ豚熱 7	豚丹毒 2			アフリカ豚熱 608	
	牛コロナウイルス病 69	豚サーコウイルス感染症 17	鶏痘 3			黄色ブドウ球菌 3	
	牛伝染性リンパ腫 452	豚大腸菌症 8					
	牛トロウイルス病 59	豚流行性下痢 7					
	牛RSウイルス病 35	伝染性胃腸炎 7					
	牛伝染性鼻気管炎 13	豚口タウイルス病 7					
	牛アデノウイルス病 15	サルモネラ 2					
	アルボウイルス 1	豚増殖性腸炎 4					
	牛バラインフルエンザ 35	バスタレラ 1					
	大腸菌症 27						
	黄色ブドウ球菌 4						
	クロストリジウム 6						
	マイコプラズマ 15						
	レプトスピラ 1						
	マンヘミア 8						
	寄生虫検査	牛寄生虫病 95	豚寄生虫病 2	鶏寄生虫病 75		馬寄生虫病 1	めん山羊寄生虫病 59
		ピロプラズマ病 74					
		肝蛭 72					
	その他	代謝病等 187	代謝病等 1	代謝病等 24		代謝病等 6	代謝病等 23

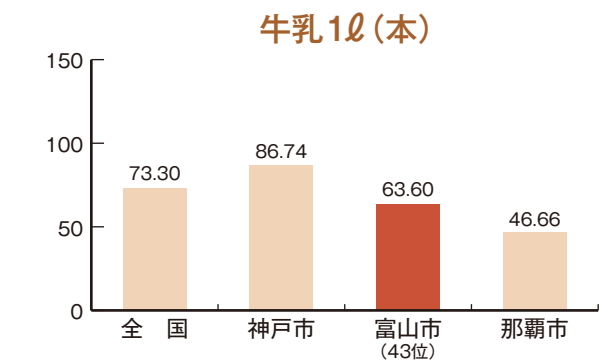
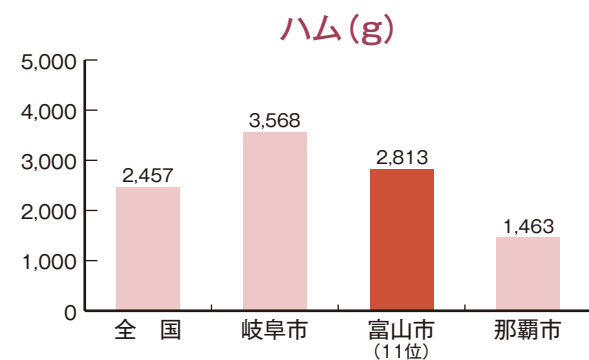
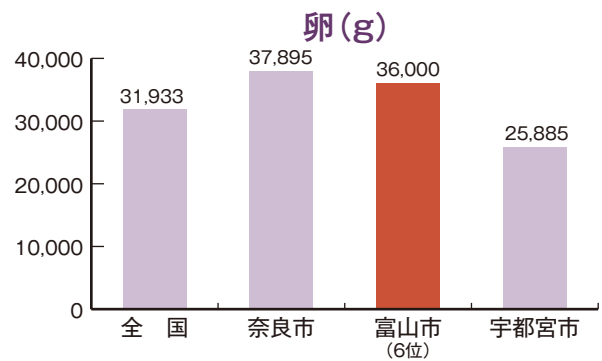
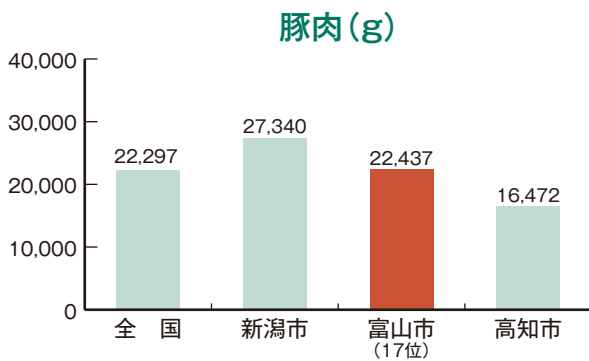
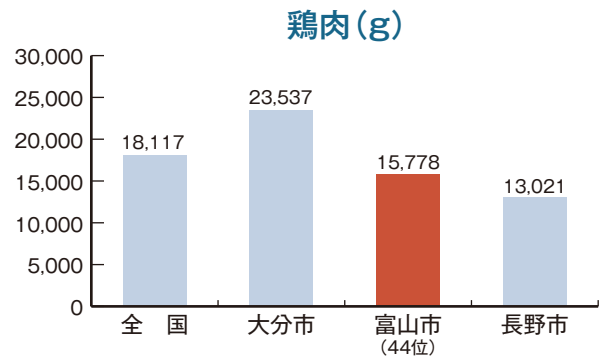
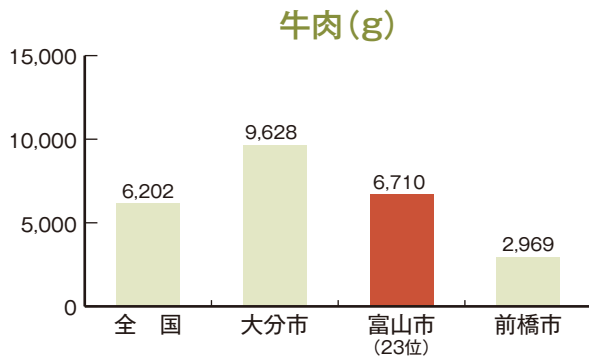
V 県内の消費動向

(1) 畜産物自給率の推移



農林水産省「牛乳乳製品統計調査」、「畜産物流通統計調査」、総務省統計局「家計調査」他
 (注) 生産量は出荷ベース、消費量は供給純食料や世帯当たり購入量に人口、世帯数を乗じた推計値。
 鶏肉は平成22年以降、生乳は28年より非公表又は調査を欠くため計算不能。

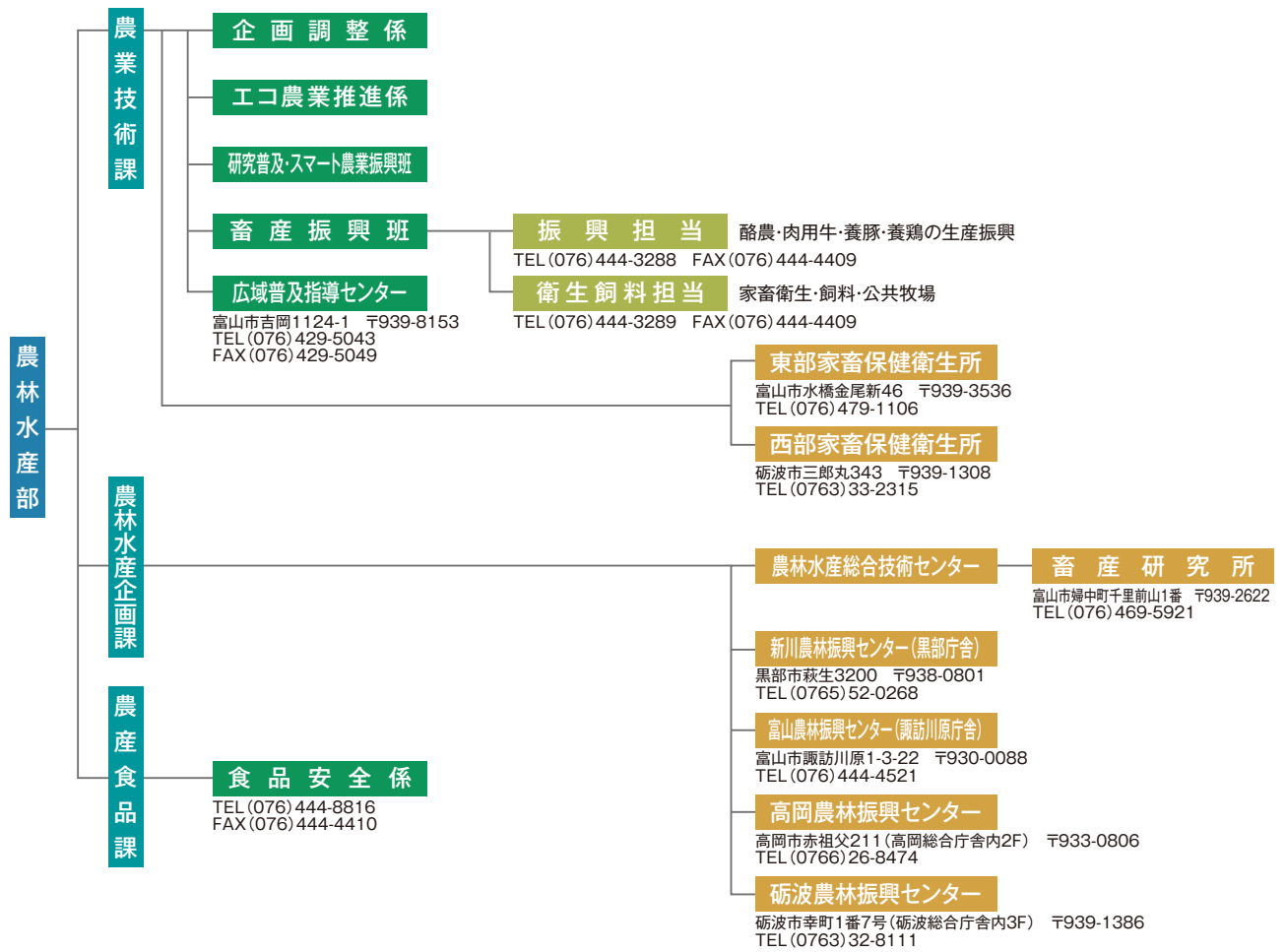
(2) 1世帯当たり年間の畜産物消費量(令和4年次)



「家計調査」対象:都道府県庁所在地(47カ所)及び川崎市、浜松市、堺市、北九州市、相模原市の52都市
 全国平均、最高都市、最低都市との比較を示す
 (注) 二人以上の世帯

VI 組織

(1) 行政組織図



(2) 主な関係団体

公益社団法人 富山県農林水産公社

富山市舟橋北町4-19 〒930-0096
TEL (076) 441-7397

公益社団法人 富山県畜産振興協会

富山市手屋三丁目10番15号 獣医畜産会館内 〒930-0901
TEL (076) 451-0117 (代表)

全国農業協同組合連合会 富山県本部 畜産部

射水市新堀28-4 〒934-0035
TEL (0766) 86-3700

公益社団法人 富山県獣医師会

富山市手屋三丁目10番15号 獣医畜産会館内 〒930-0901
TEL (076) 451-0120

一般社団法人 北陸配合飼料価格安定基金協会

金沢市古府1丁目197番地 石川県農林会館3階 〒920-0362
TEL (076) 259-6234

株式会社 富山食肉総合センター

射水市新堀28-4 〒934-0035
TEL (0766) 86-3600 (代表)

富山県乳牛協会(事務局)

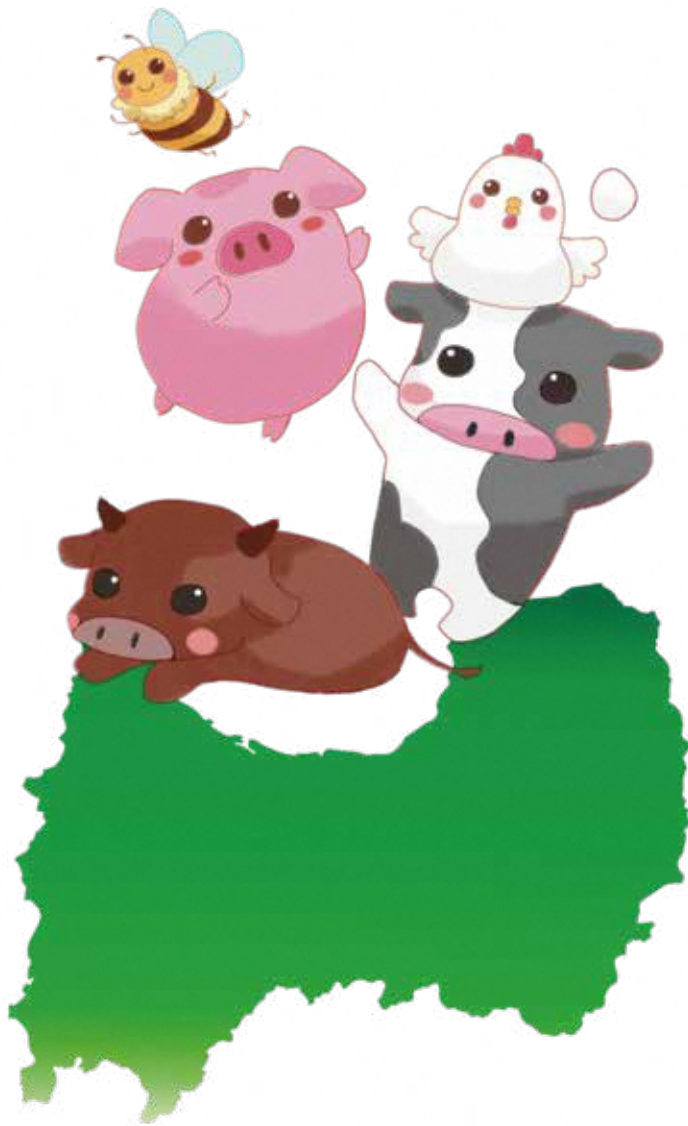
富山県養鶏協会(事務局)

富山県養蜂協会(事務局)

富山県肉用牛協会(事務局)

富山県養豚組合連合会(事務局)





農林水産部 農業技術課

〒930-0004 富山市桜橋通り5番13号
富山興銀ビル10階

TEL (076) 444-3288 (直通：畜産振興班) FAX (076) 444-4409

TEL (076) 431-4111 (代表：本庁舎)

https://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1612/

本庁舎所在地：〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号

※本庁舎宛でも郵便物は届きます。